



Pick Up News 後期A日程が終わり、約2週間講義がありません。秋のちょっとしたお休みでもありますが、後期B日程に向けての準備、予習・復習、設計課題等AB通期科目で与えられた課題の取り組みなど、有意義な時間としてください。朝晩の冷え込みも厳しく、冬がそこまで来ていることを実感します。体調も崩しやすい気候ですが、少しでも体調に不調がある場合には、無理して通学・対面授業受講をせず、オンラインでの受講として下さい。「体調不良連絡フォーム」からの申請で、授業の欠席や欠席科目のオンライン受講も連絡できます。4年生は卒業論文・卒業設計に向けて本格的な取り組みが始まっています。中間発表も経て、提出まで残り約2か月となりました。コロナ禍の影響で、例年通りには行かないところもあり、不自由な中での取り組みですが、条件は皆同じです。その中で精一杯取り組んで下さい。



太白区と本学との共同講座《地域の魅力創出のためのまちづくり実践学》。2017年度に開講した太白区との共同講座も4回目。大学と自治体との共同講座の試みは仙台初の取り組みです。太白区の魅力や課題の発見を、地域で活躍する方々からの講義と町歩きワークショップなどから学んでいきます。建築学科の不破先生・不破研究室が中心となってプロジェクトを進めています。本年度は、コロナ禍の影響を考慮し、短期集中型での開催となりましたが、他学部・他学科からの参加を含めて48名の参加がありました。座学の講義に加え、地図づくりワークショップを通して、「まちづくり」の理解を深めてゆきます。地図づくりでは、8グループに分かれて成果報告を行いました。

まちづくり実践学開催中!

Lecture for young architects!

12/20当日のアクセスはこちら

登米市登米町で毎年、レトロな展示品を店にディスプレイする商店街イベント「とよま町中ミュージアム」が今年度はオンラインを中心とした開催となりました。登米町の歴史的建造物の保存活用に取り組む中村琢己研究室がオンライン企画やwebデザインを担当し、商工会や地元企業、自治体と連携した地域連携プロジェクト(KCみやぎ産学共同研究会)の一環で取り組みました。登録有形文化財の町家ツアー、城下町屏風をつくる子供ワークショップも開催され、その様子がTBCニュースや河北新報でも紹介されました。

【予告】12月は12/12(土)午後に東京スカイツリーの照明デザイン等有名な、戸恒浩人先生(シリウスライティングオフィス)のレクチャーが決まっています。近く開催案内を公開します。



登米町での地域連携プロジェクト!

学生作品が雑誌掲載!



建築学科4年(福屋研)の鞠子揚太郎くんの作品が雑誌Penに掲載されました! 「人と社会とHonda eが自由につながり合う未来」を、想像を膨らませ描いてもらうプロジェクトだそうです。鞠子くんからのコメントです: 今回は、ホンダの新車Honda eのある未来というテーマで作品を描くというものでした。私はHonda eに合わせた未来の都市をイメージし描きました。Honda eに様々な新技術が搭載されているように、描いた都市にも様々な新技術を想像し表現しました。

東北工業大学
建築学部
Lecture for young architects

5

貝島桃代
アトリエ・ワン

建築のふるまい学

日時: 11月20日 * 16:50-18:30
対象: 学生+申込者(先着100名)
学内申込フォーム: <https://forms.gle/9H1Kxwv49Y2G682836>
Zoomにてライブで行います。16:35から入室、参加はマイク・ビデオOFFでお願ひします。
Zoom ID: 890 8619 3155

貝島桃代
アトリエ・ワン

1991年日本女子大学建築学専攻 1999年建築事務所アトリエ・ワン設立
1994年建築学専攻東北工業大学建築学専攻 1999年～2001年東北工業大学建築学専攻
2001年～2002年東北工業大学建築学専攻 2003年～2004年東北工業大学建築学専攻
2005年～2006年東北工業大学建築学専攻 2007年～2008年東北工業大学建築学専攻
2009年～2010年東北工業大学建築学専攻 2011年～2012年東北工業大学建築学専攻
2013年～2014年東北工業大学建築学専攻 2015年～2016年東北工業大学建築学専攻
2017年～2018年東北工業大学建築学専攻 2019年～2020年東北工業大学建築学専攻



未来のクリエイター with Honda e Supported by 雑誌掲載作品

Pick Up Lab. 渡邊研究室では主に都市のヒートアイランド・エネルギー(省エネ)・レジリエンス(安全)の3つのテーマについて研究しています。ヒートアイランドでは百葉箱を市内の小学校に設置し実態を調べています。エネルギーでは近年注目されているZEBやZEHについて取り組んでいます。レジリエンスではハザードマップに注目し現状の分析と改善に取り組んでいます。このように研究内容は多岐に渡りますが、共通して言えるのは「都市全体をみて、よりよい環境をつくる」ということです。今年は新型コロナウイルスの影響で研究を思うように進められない状況ですが、残された時間でできるだけのことをしていきたいと思っています。(4年高森秀真)



写真は百葉箱設置の作業と、クリマアトラスの本拠地シュツットガルト



4年 今野 隆哉 くん
盛岡第三高校 出身

Pick Up Student 卒業まで残り半年を切り、卒業設計に向け最後の追い込みをしています。普通科の高校を卒業し、大学から建築を学び始めました。初めは講義についていくことが大変で夜通し作業していました。4年間の学生生活で心掛けたことは積極的に行動することです。1年生で語学留学を経験し、2年生では台湾のインターンシップに参加しました。現在は商店街で店舗の改装や運営を行っています。行動することは責任を伴いますが、学校の枠を越えて多くのことを学びました。その経験が大学での生活で生きていくと思います。大学で学ぶ中で新たに取り組んでみたいことが見つかると思います。今年は身動きが取りづらい環境ですが、その中でできることを見つけて行動してみてください。



3年 佐久間 南実 さん
富谷高校 出身

Pick Up Student 『感謝・礼儀・謙虚』これは中学時代恩師に教わって以降、私が最も大切にしていることです。新型コロナウイルスの影響で3月に予定されていたヨーロッパ研修旅行は中止され、前期はすべてオンライン授業となり、正直向上心を維持するのが難しかったです。以前の生活が当たり前といつから錯覚していたのか、今の生活が非日常に感じるほど環境に恵まれていたか痛感しました。後期からは一部対面講義が再開され、また学友と共に受講できることのありがたみや対面講義の意義を改めて認知することができました。今は就職活動において大事な時期です。講義やゼミ、就職活動を偏りなく真摯に取り組む、自分の将来をしっかりと見据えて行動しようと思います。